

～教育現場でICTをフル活用したい～

# GIGAスクールで気を付けたい 3つの落とし穴



株式会社 協和エクシオ

ビジネスソリューション事業本部

〒150-0002東京都渋谷区渋谷3丁目29番20号

[www.exeo.co.jp](http://www.exeo.co.jp)

©2021 Kyowa Exeo Corporation All Rights Reserved.

# GIGAスクール構想の目的

## 教育現場の未来像に近づけていますか？

新型コロナの影響もあり、当初の予定より前倒しでGIGAスクールを導入された学校も多いのではないかと思います。

そのため、

**「GIGAスクールを導入したけれども活用できていない」  
「利活用や研修など、運用面の整備が追いついていない」  
「新しいツールが増え、先生ばかりが大変になる」**

なんてことはないでしょうか？

GIGAスクール構想の目的は、ICTを活用して、

**「生徒一人ひとりに沿った学習環境を提供する」  
「親御さんの不安を解消する」  
「先生方の負担を軽減する」**

ことなどです。

GIGAスクールを導入したら忙しくなってしまった、としたら本末転倒です...

### 教育現場の未来像



A large pink diagonal shape is located in the upper left quadrant, and a large blue diagonal shape is in the lower left quadrant.

# **【落とし穴①】 GIGAスクールで整備したICT環境を 有効に使いこなせない**

## 【落とし穴①】

### GIGAスクールを導入したのに、ICTを有効に活用できていない

ICTで効率的な教育環境を提供できるように、GIGAスクールが導入されましたが、実際の教育現場ではどうでしょうか？

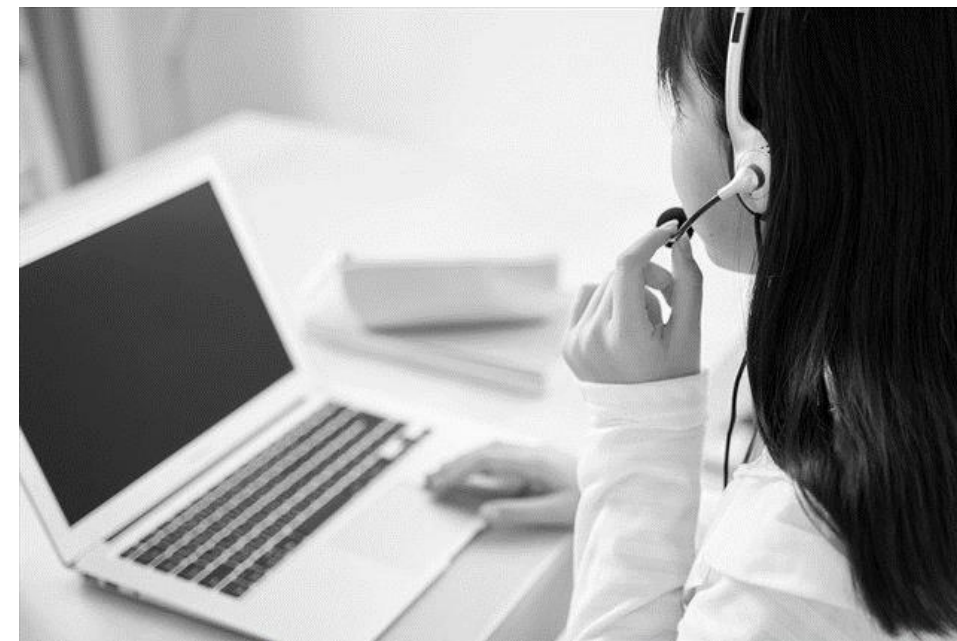
**「授業や教材に様々なデータを活用したいがやり方がわからない」**

**「ICTでもっと授業が活性化と思っていた」**

**「オンライン授業は生徒の表情がわかりづらく対面のように進められない」**

このようなことにはなっていませんか？

先生方の研修や運用整備が追いついていない、といったことがよくあります。



## 【落とし穴①】⇒【対策】ICTを活用できる環境を整えましょう

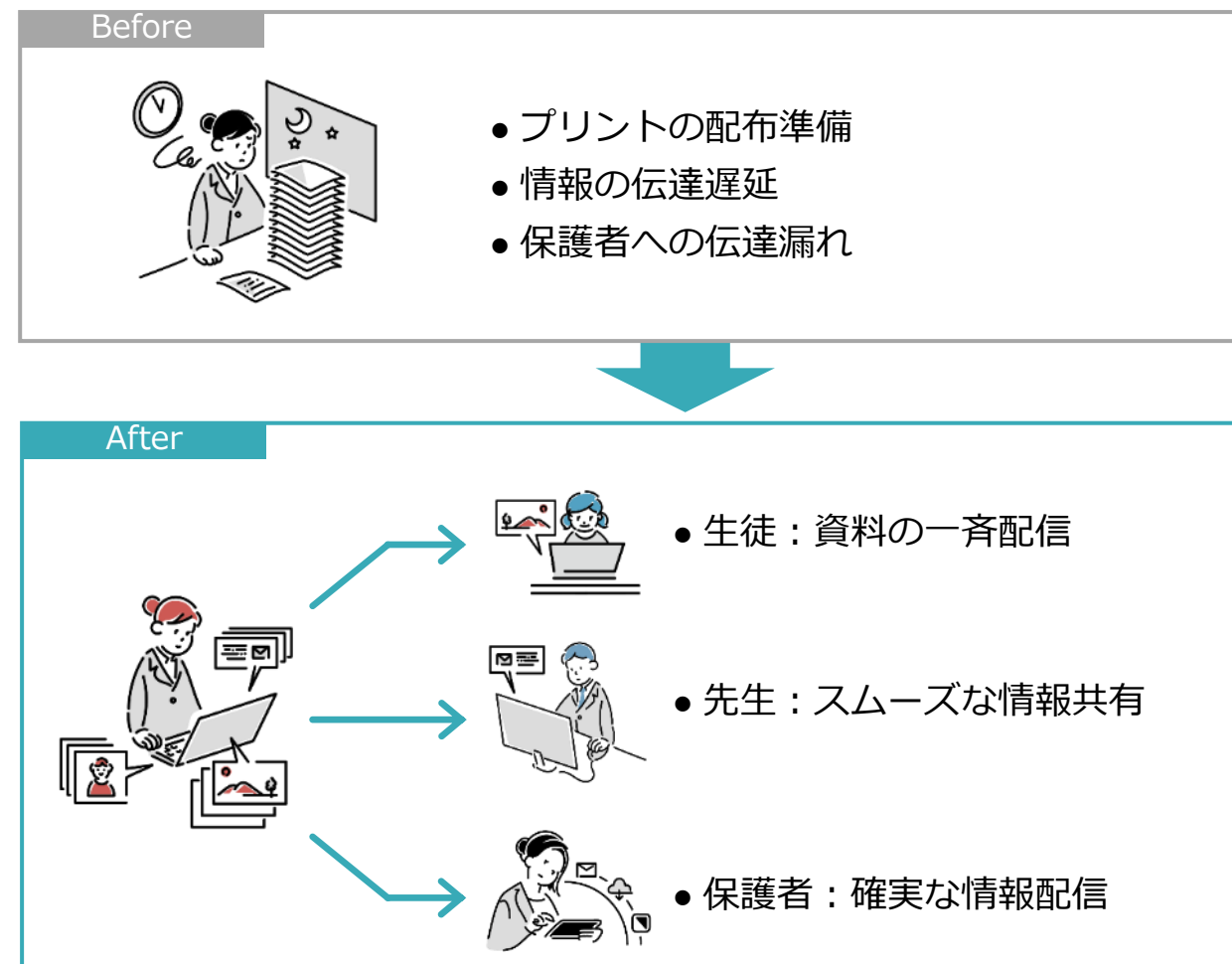
### ICTを活用できる環境を整えましょう

まずは、ICTを活用していくための環境を整えましょう。  
今後活用してくデータや教材、連絡事項等を全て同じ基盤上で扱えるようにします。

そうすると、

- ◆先生同士、生徒、保護者、教育委員会など、関連方々との「メッセージのやり取り」や「ファイル共有」
- ◆生徒の学習状況や出欠状況から、個に適した教育の提供
- ◆効率的なテスト作成や、授業へのICT導入

などを“簡単”“効率的”に行うことができます。



## 【落とし穴①】⇒【対策】教育の質を高めるためのICT活用

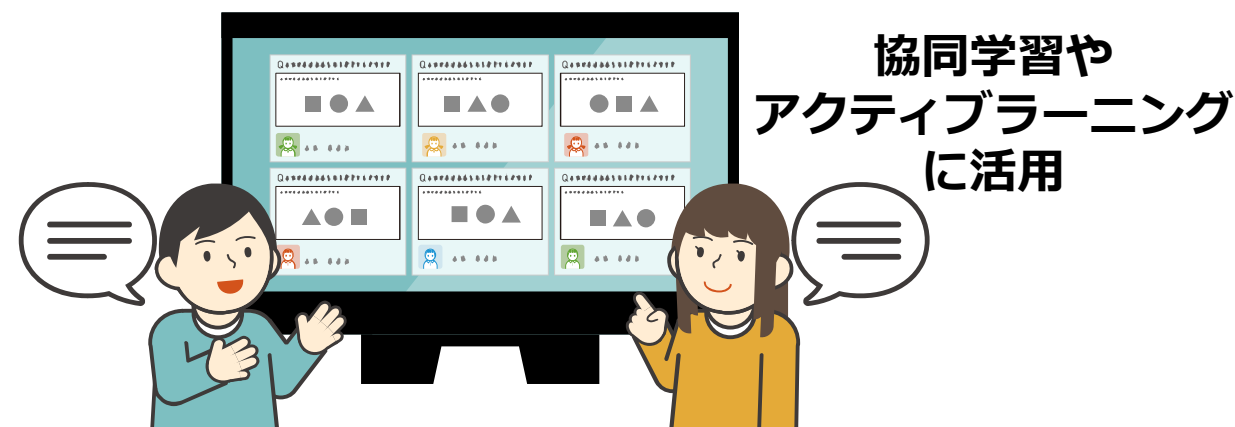
### 教育の質を高めるためのICT活用


また、授業へのICT導入にはもう一工夫して、黒板のような大画面を利用するのも効果的です。

授業中に、生徒達の入力した回答をリアルタイムに表示し、協同学習やアクティブラーニングに役立てます。

もちろん、緊急時のオンライン学習では、生徒一人ひとりの表情をしっかりと確認でき、**対面さながらの授業をすることができます。**

先生方の教室移動や授業準備を考慮して、ワンタッチでオンライン授業を開始できる遠隔授業システムがあれば、さらに**先生方の負担を軽減することができる**でしょう。



The slide features two large, diagonal, semi-transparent stripes. A pink stripe runs from the top left towards the center, and a blue stripe runs from the bottom left towards the center.

# **【落とし穴②】 GIGAスクールで導入したままの インターネット環境**



## 【落とし穴②】

### 危険を見落としていませんか？

パソコンで授業ができるように、と、まずはインターネット環境を整えたと思いますが、そのままになっていませんか？

教育委員会や学校には、学校や生徒達の大切な情報が保管されています。また、生徒へのデジタルデバイス提供は、使い方によっては危険を伴うことがあるかもしれません。

「情報漏洩の心配」

「インターネット被害への心配」

これらは、先生方や親御様が最も心配されることです。

また、将来的には利用者増加で接続が不安定になってしまうことも考えられます。





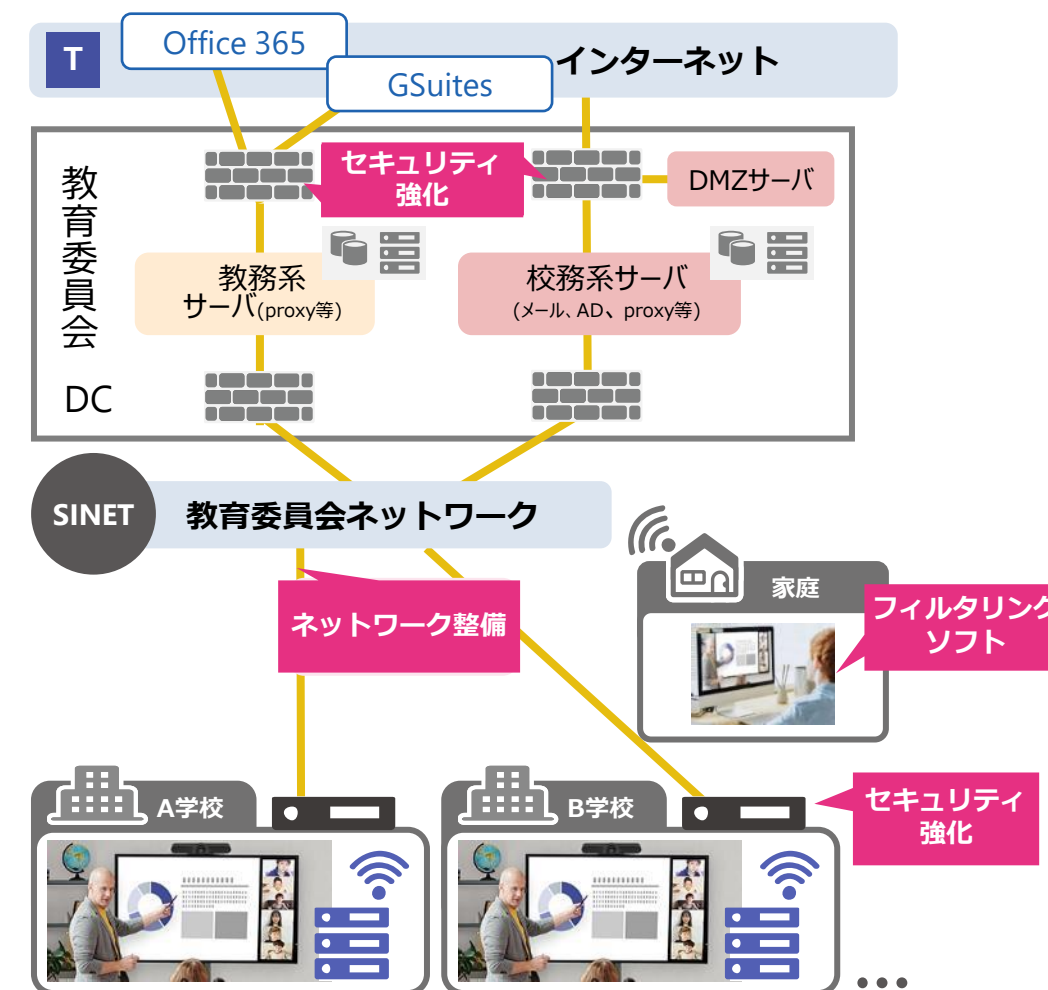
## 【落とし穴②】 ⇒ 【対策】 ソフトの活用・ネットワーク整備


### 安心安全・安定運用のためにできること

2020年8月総務省より「次期自治体情報セキュリティクラウドの標準要件」が発表され、ゲートウェイ対策やメールセキュリティ対策など、約30の項目についてセキュリティ水準を示されています。

ネットワーク機器をセキュリティ性の高いものに変更したり、生徒への有害サイトフィルタリングソフトなどの活用が有効です。

安心安全以外にも、ネットワークが遅くイライラするなんてことが無いように、インターネットブレイクアウトの導入および、定期的にネットワークの使用状況を確認することも大事です。



A large pink diagonal shape is in the top left, and a blue diagonal shape is in the bottom left, both pointing towards the center.

# **【落とし穴③】 GIGAスクールを導入したのに 効率化が進まない**

## 【落とし穴③】

### 新たな仕事が増えていませんか？

先に述べたように、ICTを活用するための基盤があると、ものすごく便利です。

でもそのためには、生徒一人ひとりのアカウントを管理する必要があります。

学習用ソフトを利用するためには、もしかすると、**煩雑な承認手続き**があるかもしれません。

また、**校務系、学習系、行政系のネットワークが分かれていて、オペレーションが煩雑**なんてことはありませんか？

本来業務でないところの稼働はできる限り軽減したいものです。



## 【落とし穴③】 ⇒ 【対策】 ツールによる自動化・自治体NW強靱化

### 煩雑な校務は、あたりまえではありません

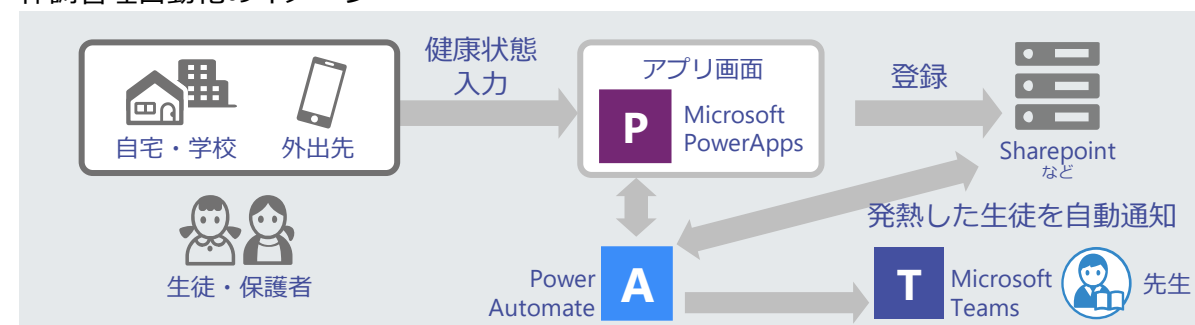
アカウント管理、教材の注文、生徒の体調管理、各種申請承認など…。必要な処理、仕方のない事、と思いませんか？

**煩雑な処理は自動化**できます。面倒だな、と思ったら、そこには、改善の余地があるのです。

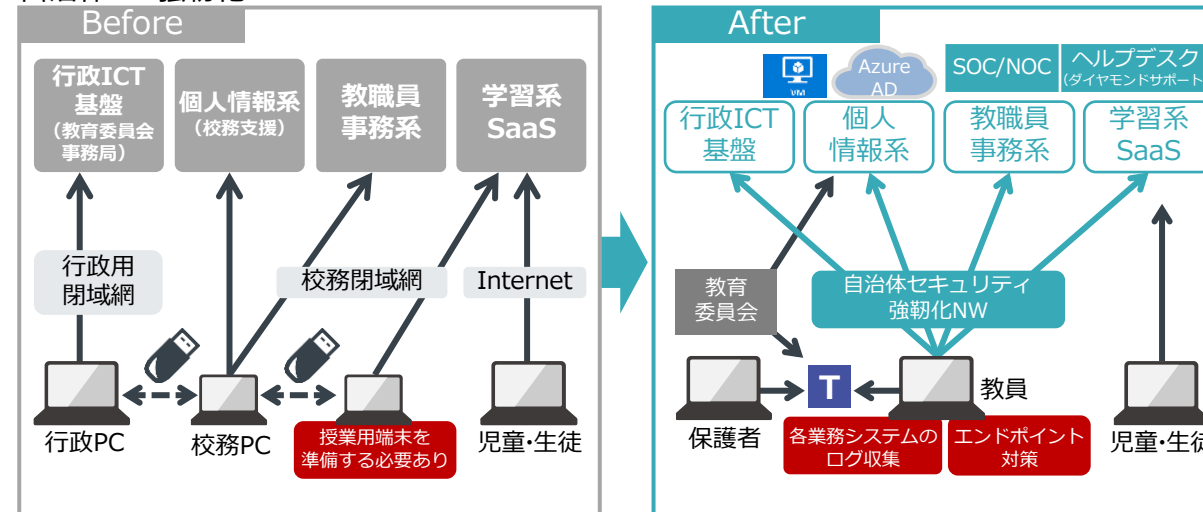
先生方の校務を支援してくれるツールがたくさんありますので、ぜひ有効に活用していきましょう。

また、総務省から求められているように、新たな働き方を実践するため、ネットワークのあり方を見直すのもひとつです。  
端末1台で、**各ネットワークの情報を扱え、先生や生徒、保護者の方との連携や情報共有がスムーズに行える**ようになります。

体調管理自動化のイメージ



自治体NW強靱化



The background features two large, diagonal stripes. A pink stripe runs from the top left towards the center, and a dark blue stripe runs from the bottom left towards the center. Both stripes have rounded ends.

# まとめ

## GIGAスクールを 最大限活用するための**3つのポイント**



### ① 教育の質を高めるためのICT活用

- ICT利用のための環境整備
- 教育の質を高めるため環境整備

### ② 安心安全・安定運用

- ネットワーク機器の見直し
- フィルタリングソフト
- ネットワークの整備

### ③ 煩雑な校務は自動化

- 校務の自動化
- 自治体ネットワーク強靱化

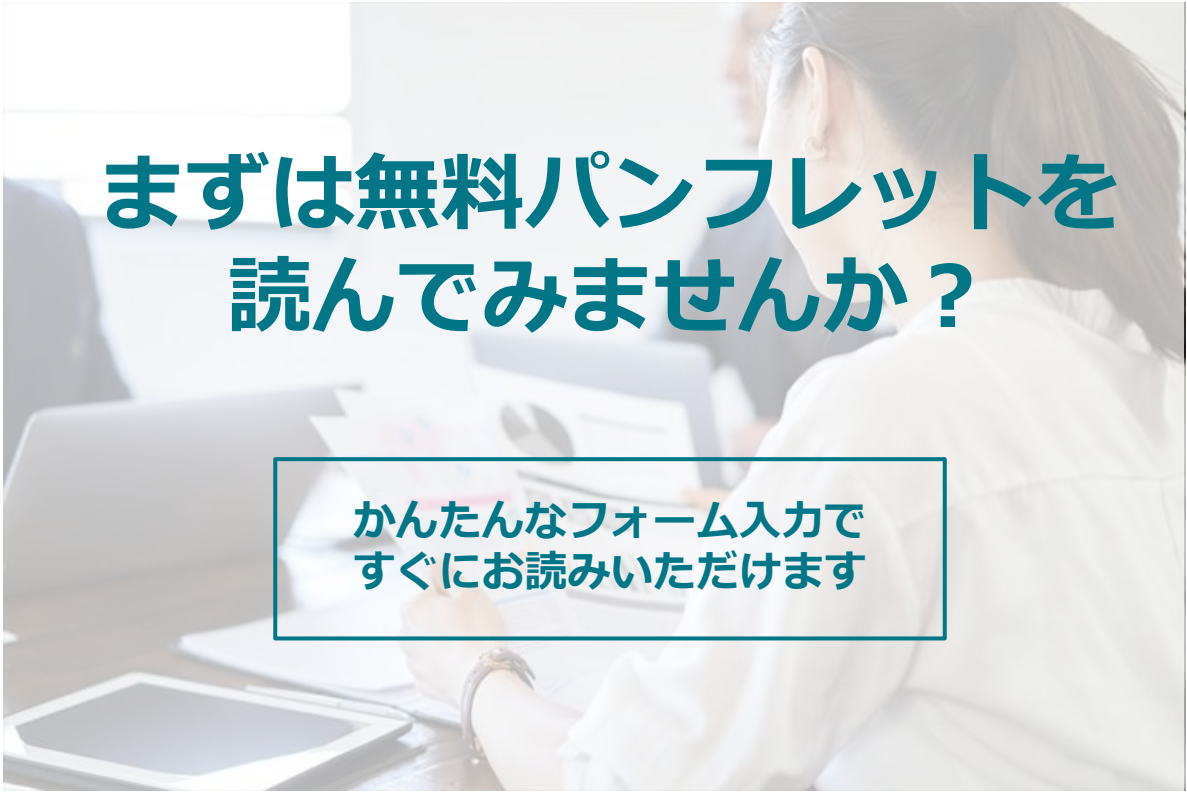


A large pink shape with a rounded bottom-left corner is positioned in the upper left quadrant. A large blue shape is in the bottom-left corner. Both are diagonal in orientation.

教育現場でICTをフル活用

# アフターGIGAスクールパッケージ のご紹介

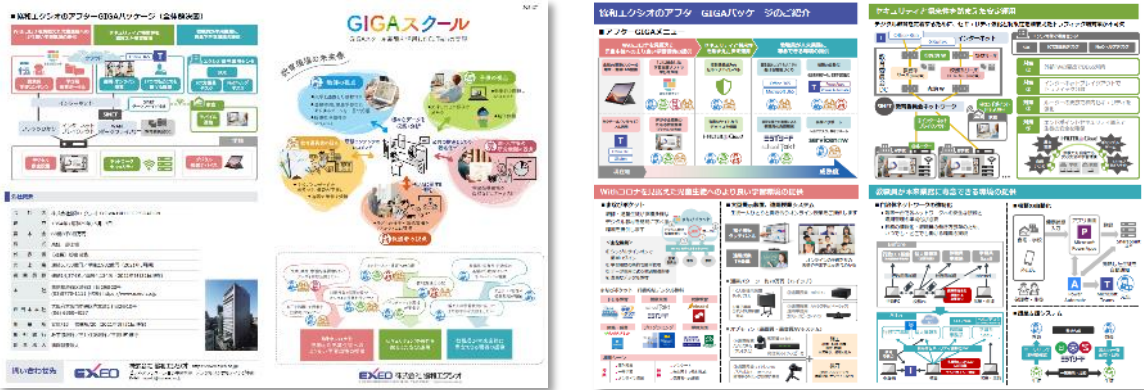
# 【無料】アフターGIGAスクールパッケージのご紹介



まずは無料パンフレットを  
読んでみませんか？

かんたんなフォーム入力で  
すぐにお読みいただけます

パンフレット請求はこちらをクリック





# *Engineering for Fusion*

社会を繋ぐエンジニアリングをすべての未来へ

